

1. 保育目標及び教育方針と理念

<保育目標>

学校法人めぐみ学園が設置する幼保連携型認定こども園めぐみ幼稚園は、キリスト教精神に基づき教育並びに保育を一体的に行う。同時にまた、子どもの健やかな成長が図られるよう適切な環境を整えて、その心身の発達を促し、保護者に対する子育ての支援を行なう事をその目的とする。

<教育方針と理念>

めぐみ幼稚園は、子どもがイエス・キリストを通して示される「神の愛と恵」のもとで育てられることを願って、日本基督教団盛岡松園教会（大沢河原教会）を母体として設立された。この願いを受け止め、保育者は、聖書の言葉に学びつつ、イエス・キリストとの交わりを通して与えられる導きに従い、子どもを愛し育てられる神の業と恵みと共に与ることを祈り求めていく。

その保育の中心は遊びであり、遊びには幼児の成長や発達にとって重要な要素が含まれている。園生活を楽しく豊かなものとするを求め、幼稚園は楽しく自由にのびのびと遊べる環境と機会を作り出すことに努める。遊びを自発的な活動とすることは、子どもが心身全体を働かせ、様々な体験を通して、達成感、充足感、満足感、挫折感、葛藤などを味わうことにつながる。それによって、精神的な成長を遂げ、心身共に調和のとれた人格を形成するように子どもたちを導く。

めぐみ幼稚園ではまた、通常保育を充実させることと並んで、行事を通して子どもが成長していくことができるように努める。行事の計画を立てるに際しては、日常の保育の流れの中にどのように組み込んでいくか、子どもの様子を見て無理なく準備を心がける。

キリスト教保育を志すめぐみ幼稚園では、礼拝を大切に、各クラスの毎日の礼拝、学年ごとの合同礼拝、全園児合同礼拝をおこなう。礼拝を通して、子どもが神の存在を確信し、自分が愛されていることを知り、心の平安を得て、交わりを深めていくことができるように導く。

2. 2022 年度 自己評価より

* 一人ひとりの発達や現状を把握し、職員間で連携する。

* 小さなことでも共有し、連携をとるように努める。

→ 毎日の報告会等、教職員同士の連携を密にし、教職員と話し合いながら保育を行ってきた。

* 子どもの立場に立ち、相手が伝えようとしていることを聴き、寄り添うように努める。

→ 子どもたちの言葉を聞くように、その思いをかなえるように努力した。そのことを通して、見えていなかった部分、気付くことが難しかった部分に気が付くようになった。

* 子どもの発達、クラスの在り方について話し合える職場環境

→ 他の教職員の考え方を聞いたり、話し合うことで自分の学びにつながった。

* 保護者との連絡をスムーズにする。

→ おがーるシステムの導入により園からの連絡事項がスムーズに確認できるようになった。

* コロナ禍にあり、健康管理の充実をはかる。

→ 毎日の健康チェック表記入や検温等、子ども達一人一人の健康状態を確認できた。

* コロナ禍にあり、行事の見直しをし、柔軟に対応するよう努めた。

3. 今後の課題

* 園内・園外研修や勉強会等を通し、一人一人が園の教育目標及び教育方針と理念を理解し、子どもたちの最善の利益を考えて丁寧に保育に取り組んでいく。

* 教職員間での連携を密にし、共通理解できるように話し合う時を十分もち、取り組んでいく。

* コロナ禍で見直してきた行事を再度検討し、必要に応じて柔軟に取り組んでいく。

* 安全面への配慮と設備の充実

* 子育て支援の充実

4. 財務状況

県の指導に基づき会計処理し、監査を経て公認会計士により適正であると認められている。